

## A. 0004

イギリス人の習慣のせいと言われていました。  
近代保険はイギリスで始まりましたが、親しい者が集まってお茶をします。  
お茶会の席で「じゃあ、保険ってのをはじめようか」ということになり、

Aさん：いつから、やる？

Bさん：今からでいいっしょ。

Cさん：じゃ、4時からっつーことで。

で、散会したので、4時はじまり、らしいです

シャークスピアという劇作家がいますね。『ベニスの商人』ってのがあります。このお話のそもそもの起こりが、船主がシャイロックから金を借りて、商いをしようとして、船が沈没してしまいます。金を返すあてがなくなっちゃったので、大騒ぎになりました。大団円はめでたしめでたしなのか、なんとなく腑に落ちないのか、読む人さままでしょう。が「今のまま」ではまずいと感じた人たちがいたわけです。当の船主たちです。

A： おうおう、あの一件ってのは、ヤだねえ。

B： 嵐に遭って破産で、ひとごとじゃねえよな。

A： 明日は我が身だせえー、なんとかなんねえかな。

C： じゃあよー、儲けの一部を出し合って、  
おれっちが破滅しないように助けあおうじゃねえーか。

B： で、どんだけ出すのよ？

C： そうだなあー、この10年で5隻くらい沈んでんだろ。

A： 仲間が10人だろ。で、毎年1回荷いー運んでっから、100隻分だから5%か。  
そんくれーしょーがねえか。

で、保険が成立、海上保険のはじまりはじまり、でございます。船主たちは代わるがわる海に出ちゃうので、陸で常時預かり金（保険料）の管理する者が要りようになりました。保険屋の誕生です。その後、シャイロックが金貸はイヤになり、保険屋に転身したかどうかまでは続編がないので分かりません。船主たちと仲良くやればいいのですが……